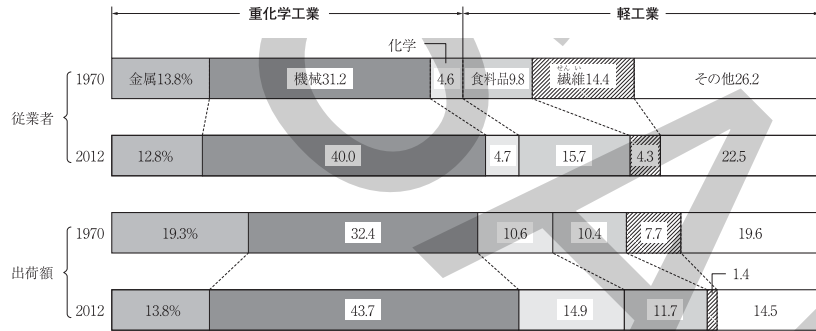


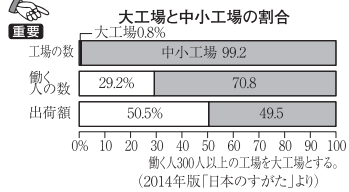
2 日本の工業

①日本の工業の特色

産業別構成



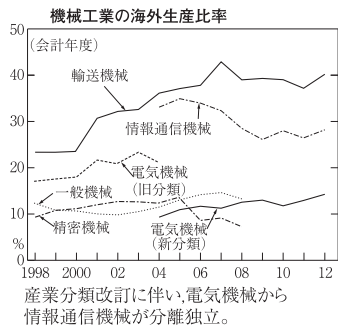
大工場と中小工場



大工場と中小工場

大工場は、設備が整っており、1人あたりの生産額や賃金が高いのが特徴です。
 中小工場は、大工場に比べて資金が少なく1人あたりの生産額や賃金が高いことが多くなっています。しかし、中小工場には、高い技術をもつ工場がたくさんあります。

産業の空洞化

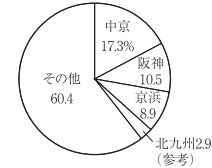


産業の空洞化

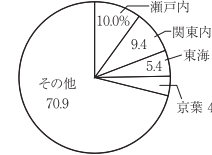
おもな産業の海外進出にともなって、国内の産業がおとろえていくことを産業の空洞化といいます。
 日本では、1980年代後半に、円高や貿易摩擦によって自動車やテレビなど機械工業製品の海外現地生産がさかんになり、産業の空洞化が問題となりました。
 現在でも、海外生産の比率が高まる傾向にあります。

②おもな工業地帯・工業地域

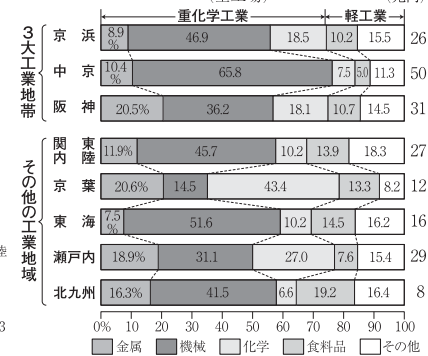
重要 3大工業地帯の工業製品出荷額 (全国: 291兆円)



おもな工業地域の工業製品出荷額



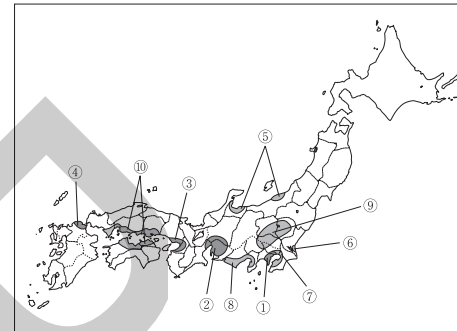
重要 おもな工業地帯の工業製品出荷額 (全工場) (兆円)



中京工業地帯では、自動車工業をはじめとする機械工業がさかん。

阪神工業地帯では、鉄鋼業など金属工業がさかん。

京葉工業地域では、化学工業がさかん。



- ①京浜工業地帯
- ②中京工業地帯
- ③阪神工業地帯
- ④北九州工業地帯(工業地域)
- ⑤北陸工業地域
- ⑥鹿島臨海工業地域
- ⑦京葉工業地域
- ⑧東海工業地域
- ⑨関東内陸工業地域
- ⑩瀬戸内工業地域

京浜工業地帯…第二次世界大戦後から近年まで日本最大の工業地帯でした。印刷業などがさかんです。
 中京工業地帯…日本最大の工業地帯です。日本最大の自動車工業都市である豊田などが含まれます。
 阪神工業地帯…第二次世界大戦前は日本最大の工業地帯でした。中小工場が多いのが特徴です。
 北九州工業地帯(工業地域)…八幡製鉄所の建設などにより発展しました。今では工業地帯としての地位が低下しています。
 北陸工業地域…石油化学工業や金属工業がさかんです。伝統工業も古くから発達しました。
 鹿島臨海工業地域…掘り込み港がつくれ、そこを中心に製鉄所や石油化学コンビナートが広がっています。
 京葉工業地域…市原を中心に石油化学コンビナートが広がっています。千葉では製鉄所があります。
 東海工業地域…浜松ではオートバイや楽器の生産、富士では紙・パルプ工業がさかんです。
 関東内陸工業地域…機械工業の割合が高く、中でも自動車や電気機械の製造がさかんです。
 瀬戸内工業地域…倉敷や周南には石油化学コンビナートが広がっています。鉄鋼業や造船業などもさかんです。